

あけまして おめでと〜い〜い〜い〜い らます



仙北市議会議長 青柳宗五郎

あけましておめでとうございます。

昨年12月議会での一般質問では、多くの議員から市の財政を心配する声が上がりました。

当初予算の審議には、水道や道路など、人が暮らすために必要不可欠な一定の経費を確保しながらも、どの事業を選択すべきなのか、議会としても力量が問われるところです。

こうした政策の決定にあたっては、本来、住民の全員が集まって議論することが理想的です。

しかし、現実としては不可能に近いため、選挙で選ばれた代表が議論のうえ決定する仕組み、これがいわゆる「間接民主制」という地方議会の制度なのです。

皆様からも、是非、本会議、あるいは委員会に足を運んでいただき、自らの代表と執行側との議論を直接ご覧いただきたいと願うものです。

そして、議論された経過を踏まえ、自らの代表と忌憚きたんのない意見交換を行うなど、積極的に議員と関わっていただきたいと思えます。

本年は、従来からの権能である「批判監視」に加え、「提言する議会」を目指して活動したいと考えています。

本年もご指導の程、よろしくお願ひ申し上げます。

令和2年1月吉日